

ショッピングセンターの空きスペースを活用し、高齢者と子供が触れ合う場を提供

NPO法人 新湊くらし応援団

機関名	特定非営利活動法人 新湊くらし応援団		
所在地	富山県新湊市本町3丁目12-28		
電話番号	0766-84-4077		
地域概要	(1)管内人口 37千人	(2)管内商店街数 4商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1	(2)会員数 25商店	
	(3)空店舗率 7.8%	(4)大型店空き店舗数 1	
商店街の類型	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（複合施設）

- ・高齢者交流、福祉サービス提供事業
- ・託児サービス・子育て親子交流事業

総事業費

18,036千円

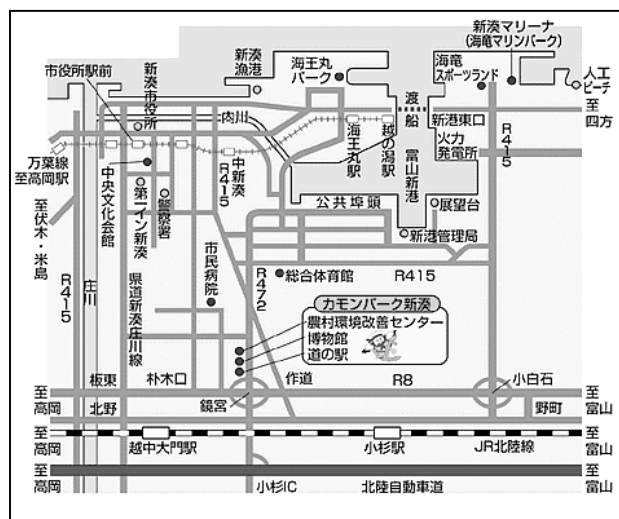
【事業実施内容】

1. 背景

新湊市は、特定重要港湾伏木富山港「新湊地区」（富山新港）を擁し、三大都市圏とも密接につながり、北海道及び九州との中継地として「扇のかなめ」の役割を担うべき位置に存する。

新湊市においては少子高齢化で地域住民の人口が減少し、市の近郊には大型店が出店するなど、市街地の集客力が低下しつつあった。その中で中心市街地に立地する「カモン新湊ショッピングセンター」は、地域特性を踏まえて送迎バスの運行や宅配といった福祉サービスの取組みを行い、地域住民に支持されていた。

そのような折、ショッピングセンターの2・3階で衣料品販売を行なうとともに、ショッピングセンター全体の運営管理をしていた会社が倒産した。空きスペースに物販テナントを募集したが、応じる企業はなかなか現れなかった。地元婦人会や専門家と相談した結果、高齢者が気軽に集えるサロンや託児所ニーズがあることが判明し、福祉的な要



新湊市の位置図（新湊市のHP）より

素を備えた地域住民の憩いの場として活用することになった。行政・地域住民・企業が協働して福祉と商業を合体させ地域活性化を図ることを目的とし、本事業に取組んだ。

2. 事業内容

(1) 事業概要

新湊市中心市街地に位置する「カモン新湊ショッピングセンター」の2階空き店舗の一部を改装し、平成16年7月末にコミュニティ施設「グランパ」を開設した。

①施設

「グランパ」では高齢者の交流や福祉サービスの提供と、託児サービスや親子交流のつどい等を実施している。

- ・高齢者交流サロン・福祉サービス提供スペース：80.9 m²
- ・託児サービス・親子交流つどいの広場スペース：150.9 m²

②運営体制

平成16年1月末にショッピングセンターの空き店舗及び中心市街地活性化のために設立したNPO法人新湊くらし応援団事務局が、施設全体の管理を行っている。

- ・高齢者交流サロン：アルバイト4名
- ・託児サービス：職員3名
- ・親子交流つどいの広場：職員2名
- ・その他スタッフ：一般市民のボランティアが参加



カモン新湊ショッピングセンター

(2) 高齢者交流サロン事業

一人暮らしの高齢者や、家族と同居していても昼間は一人の高齢者が、仲間とともに一緒に食事をするにより、高齢者が地域で元気に暮らせることを目的とする。

- ・利用時間：月曜日～金曜日 AM10時～PM4時
土曜日～日曜日 AM10時～PM12時
- ・利用料金：無料
- ・内容：各種教室、セミナー開催（パソコン教室、お花・押し花体験教室、ビーズ教室、料理教室、カラオケ教室、介護予防教室等）
- ・利用者数：年間2,192人（1日平均10.96人）



高齢者交流サロンの様子

(3) 高齢者福祉サービス提供事業

高齢者の福祉向上のため、ショッピングセンターと連動したサービスを実施した。さらに月に1回（毎月第3日曜日）会食サービスを行い、新湊の新鮮な食材を利用した食事を提供した。

- ①カモン新湊ショッピングセンターを中心に送迎バスの巡回（5ルート）
- ②配達サービス
- ③電話注文宅配サービス
- ④会食サービス（年11回実施）
 - ・利用時間：AM11時～PM1時
 - ・利用料金：食材費実費450円
 - ・内 容：会食の前にゲーム、講話、ソング、介護予防体操を行い、終了後にアンケートを実施した。
 - ・利用者数：年間353人（1回平均32.1人）

（4）託児サービス事業

乳幼児や、放課後児童の一時預かり等の事業を行なった。会員制度により会員は安価でサービス利用可能。

- ・託児対象：生後3ヶ月以上
- ・利用時間：AM8時～PM6時（時間外相談可）
- ・会 費：入会金2,000円、年会費3,000円
- ・利用者数：年間659人（1日平均2.8人）



託児サービスの様子

利用料金表

	時間	会員	一般
1時間利用	1時間以内	500円	600円
半日利用	4時間以内	900円	1,100円
1日利用	4時間以上	1,800円	2,200円

※その他：紙オムツ1枚100円、食事1回400円、おやつ1回100円

（5）子育て親子交流・つどいの広場事業

主に乳幼児をもつ子育て中の親子が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことにより精神的な安定感をもたらし、子育ての問題解決への糸口となる機会を提供した。子育てアドバイザーが子育て相談に応じるとともに、子育てに関する講習を行う。新湊市より委託を受け実施した。

- ・利用時間：AM10時～PM4時
- ・利用料金：無料（おやつ実費）
- ・利用者数：年間3,738人（1日平均15.32人）



子育て親子交流の様子

（6）商店街連携イベント事業

本町・西新町商店街、カモン新湊ショッピングセンター、新湊商工会議所、新湊市と協働で中心市街地の活性化と賑わい創出を行った。

①朝市・フリーマーケット（年4回開催）

カモン新湊ショッピングセンター駐車場や店頭アーケード下を使用して実施した。西新町商店街で開催した際には通りを歩行者天国にして開催した。

- ・実施イベント:抹茶無料サービス、鍋祭り 1 杯 100 円、チャリティー餅つき大会 1 個 50 円、らんちゅう金魚すくい大会、輪投げ大会

②スタンプラリー（年2回開催）

商店街の店舗にて買い上げごとにカードにスタンプを押し、カードが満杯（スタンプ 10 個）になると抽選で景品（商品券、コミュニティバス利用券等）がもらえる。

③一店一宝

スタンプラリー開催中に商店街の各店舗がお宝一点を店頭に展示した。



オープニングチラシ

【 効 果 】

1. 近隣商店街への波及

商店街との連携イベント（スタンプラリーや朝市・フリーマーケットの開催）により、西新町商店街への来街者が以前より増加した。

2. 来街者の行動

コミュニティ施設を開設してから、高齢者交流サロンや託児サービスサロンを利用する元気なシニア層や赤ちゃん連れの若いお母さん達が増え、活気が出てきた。

3. 商店街の認知度

連携イベントを実施したことにより、今まで西新町商店街で買い物をしたことがない人が訪れることが多く、商店街の認知度がアップした。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・事業費の確保

現在の事業収入は託児サービスの保育料のみで、事業費の六分の一を自己資金で賄っている状態のため、資金調達が必要である。補助金支給が年度末のため施設運営の資金繰りに苦労している。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

1. 補助金だけに頼るのは無理があり、事業資金の調達計画が必要である。
2. 「誰かがやってくれるだろう」という姿勢ではなく、商店街店主の積極的参加が必要である。

【 関 連 U R L 】

新湊商工会議所 <http://www.ccis-toyama.or.jp/scci/index.html>